



考古博物館

綾羅木郷遺跡とともに

過ぎ去って20年

守られた遺跡と考古博物館

1960年代後半の高度経済成長期、綾羅木郷遺跡ではエンジンの鋳型に使用する硅砂の採掘により遺跡が破壊されることから、緊急発掘調査が行われました。ところが、1969年3月8日、採掘業者は突然、遺跡の破壊を始めたため、市民や調査関係者は、ブル

ドーザーの前に立ちはだかり、阻止しました。事態を重くみた文化庁は、3日後に異例の早さで国史跡に指定しました。そのため、この遺跡は市民の力によって守られた文化財として、語り継がれています。

考古博物館は、当時の調査関係者の情熱を伝え、市内の発掘調査の成果を公開する目的で1995年5月13日、史跡綾羅木郷遺跡に隣接して建設しました。

西日本を代表する綾羅木郷遺跡

綾羅木郷遺跡は響灘に面した洪積台地先端に位置する、約2400年前の弥生時代前期末から中期初頭の集落遺跡です。総数1000基以上の貯蔵用竪穴と数条の環濠が発見された他、弥生土器や石器、多種多様な動植物遺体が出土しており、当時の生活の様子を知ることができると西日本有数の遺跡です。

出土した土器は綾羅木式土器と呼ばれ、貝殻で施された羽状文などで美しく飾られています。遺跡の規模に加え、朝鮮半島で作られたと思われるアマゾナイト製の勾玉や、日本海沿岸の前期の弥生文化に特徴的な土笛が出土していることから、この遺跡が他地域との交流拠点であったことを物語っています。

遺跡の破壊



夏休み企画!



こんにちは! 考古博物館のマスコットキャラクター「ぶえ吉」です。ぶえ吉のモチーフは何でしょう? 正解は下を見てね!

考古博物館を探検しませんか?

普段は見ることのできない博物館のバックヤードを学芸員と一緒に探検します。
 8月21日(金)午後1時30分~3時30分
 ※小学3年生以下は保護者同伴 40人(抽選) 8月7日(金/必着)までに、往復はがきで参加希望者全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・学年・電話番号を考古博物館へ。

考古博物館 発掘速報展

「掘ったほ! 下関 2015」

昨年度の発掘調査の成果を中心に、下関市域の遺跡・遺物について紹介します。

9月6日(日)まで

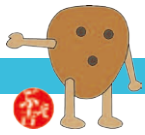
●展示解説会(参加無料・申込不要) = 8月23日(日)午後1時30分~約1時間 学芸員

正解は...

土笛です!



そっくりでしょ?



20周年企画！

お楽しみに！

①開館20周年記念特別展

「綾羅木郷遺跡とその時代—環濠集落 事始め—」



綾羅木郷遺跡は、周囲に防御のための濠を巡らせた弥生時代の集落です。環濠集落とはどのようなものだったのでしょうか？

3件27点の重要文化財を含む、合計120点を出品します。

開 9月19日～11月15日

●展示解説会＝9月20日、10月10・31日 各午後1時30分から

②開館20周年記念シンポジウム

「綾羅木郷遺跡—本州最西端の弥生文化を探る—」



遺跡保存のあり方を全国に発信したこの遺跡は、文化財保護制度の充実に大きな役割を果たしました。遺跡の学術的な位置づけや、地域に果たした役割とは？ 日本を代表する弥生時代研究者と調査関係者が、多角的な面から考察します！ ※無料

開 10月3日(土)午後1時～5時 会場 海峽メッセ下関国際会議場 定員300人 申し込みはがき、ファクス、Eメールに、住所・氏名・電話番号を書いて、考古博物館へ。

●基調講演

高倉洋彰(日本考古学会会長)、山内紀嗣(関西大非常勤講師)

●シンポジウム

▷コーディネーター 中村俊介(朝日新聞西部本社編集委員)
▷シンポジスト 高倉洋彰、山内紀嗣、武末純一(福岡大教授)、片岡宏二(小都市埋蔵文化財調査センター所長)、伊東照雄(元下関市教委調査担当者) ※敬称略

★他にも行事が盛りだくさん！

見て、体験して、楽しもう！

●一般教養講座、考古よもやま話、勾玉づくり教室、竪穴住居組み立て体験、巡回講座 人類学ミュージアム「ホネホネウォッチング」 ※詳細は市報9月号以降でお知らせする予定です

●第17回「やよい絵画展」作品募集中！

考古博物館周辺の風景、展示の感想、原始古代の想像画など
対象 小学生～中学生 締切 10月31日(土)まで
▷展示期間＝11月21日～平成28年1月31日

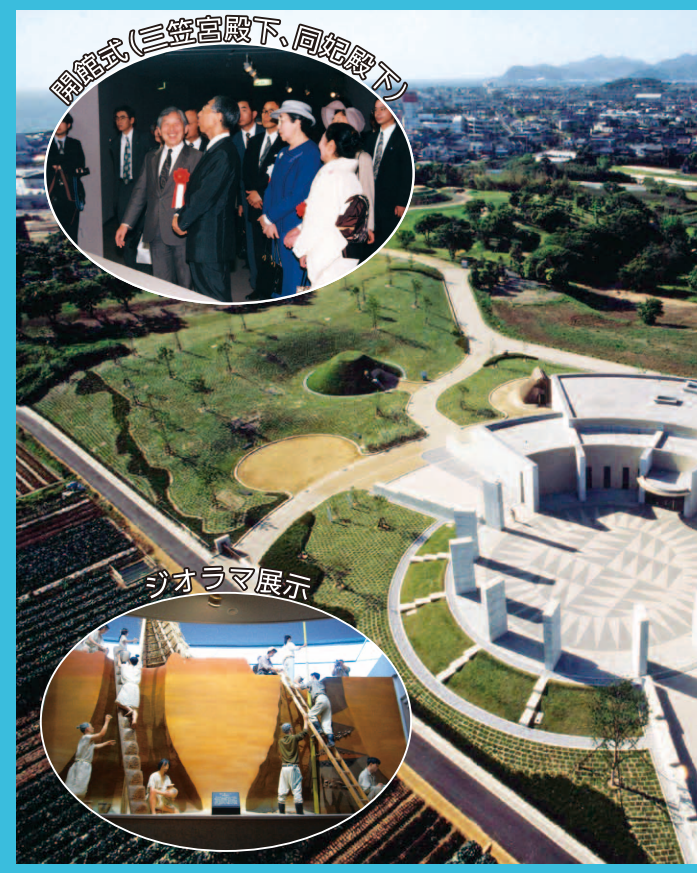
下関市立考古博物館

場 所 下関市大字綾羅木字岡454番地
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、12月28日～1月4日

入 館 料 無料

連 絡 先 ☎254-3061 ☎254-3062

✉main@koukohaku.shimonoseki.yamaguchi.jp



これからの考古博物館
開館以来、地域の遺跡を紹介した常設展や、テーマ性のある企画展・特別展を開催する他、勾玉や土笛づくりなど、子ども対象の体験学習を積極的に行ってきました。今後も、地域の弥生時代や古墳時代に焦点を当て、幅広い世代に地域の文化財を「見て、つくって、感じる」機会を提示し、地域の学びの場、ふるさと下関に対する愛着を育む場として博物館活動を推進します。

考古博物館の体験学習講座



●勾玉づくり教室 ●土笛・土鈴づくり教室 ●竪穴住居組み立て体験 ●考古博物館探検 ●古代こども体験教室 ●出前講座